

第11回 法人会全国女性フォーラム福島大会の報告

平成28年4月14日(木)に第11回法人会全国女性フォーラム福島大会が郡山市で開催され、全国から女性部会員を中心に1800名以上の方が参加されました。徳島法人会からも、女性部役員の3名が参加しました。

第1部の記念講演では、「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」という演題でフリーアナウンサーの大和田 新(おおわだ あらた)氏の講演がおこなわれ、震災の状況など、マスコミの取材にも被災者の気持ちに寄り添っていかないと応じてもらえない状況の中、私たちの知らない部分での被災者の声を聞くことができ、伝えることの大切さ、むずかしさを涙しながら聞かせていただきました。大和田氏に徳島へもお越しいただき、ご講演願えたらと思います。

第2部の大会式典では、主催者挨拶、来賓祝辞に続いて各法人会の活動報告が①税に関する絵はがきコンクール優秀作品の看板塔に表示制作設置 ②租税教室の開催など数々の事例をもとに、スクリーンにより発表がありました。それぞれ工夫され活躍されている所が映し出されており、参加者は熱心に聞かれており、徳島法人会の今後の取り組みにおいても大変参考になりました。

また、会場においては物産展が行われ福島県下の物産が数多く出店され地域のPRに役かっていました。展示コーナーでは、全国から寄せられた「税に関する絵はがきコンクール」の優秀作品の展示があり、租税教育活動の事業の一環として行われているものであり、各会員の人は関心を持って閲覧していました。

以上のような福島大会の開催を踏まえ下記のような取組を行いました。

◎女性部会会員交流会議での報告会と今後の取り組み

出席した会員より福島大会での各法人会の活動状況を報告し、感想を述べ意見交換を行いました。女性部会の活動の柱である「いちごプロジェクト」は進め方を工夫し、ノウハウを一層充実させ実のあるプロジェクトを目指すことを決意しました。「税に関する絵はがきコンクール」においては、今後小学校への情宣の強化を図り、より多くの小学生への参加を呼び掛けることにより税に関しての関心をより深めていってもらうことで一致しました。小学生の「租税教室」においては、今後「租税教室講師養成研修」等に積極的に参加し講師養成を行ない女性部も積極的に参加する方向を目指していきます。今後も他の法人会の活動の良いところを吸収し、より良い活動を目指していききたいと思います。

今後とも多くの方々のご協力ご支援をお願いいたします。

平成27年度における徳島法人会女性部会の主な活動報告

- 1) 阿波踊りで節電うちわ配付 平成27年8月14日
節電対策「いちごプロジェクト」(家庭における使用電力の15%節減運動)への取り組みとして、阿波おどり演舞場で節電うちわを配布し、広く節電をPRしました。
- 2) 租税教育活動 絵はがきコンクールの開催 平成27年6月～9月
小学生の税への関心を高めるため徳島税務署管内56小学校の6年生へ募集を行い、11校308名の応募作品の中から、女性部会が中心となって入賞作品21点を決定しました。「小学生の税に関する作品集」を900部作成し、3月に学校訪問を行い入賞者へ記念品と共に進呈しました。
- 3) 租税教育活動 小学生の税についての作文募集 平成27年6月～11月
租税教育の一環として、作文を通じ児童に税の意義や役割を正しく理解してもらうために実施。徳島税務署管内56小学校の生徒を対象に「税」をテーマに作文を募集、38校から313編の応募があり、入賞作品17点を決定しました。また「小学生の税に関する作品集」を900部刊行し、各小学校・官公庁に配布しました。特選作品2名は、平成28年度の第5回通常総会・研修会において朗読され、納税についての理解と意識啓発の機会を提供します。
- 4) 吉野川清掃ボランティアへの参加 平成27年9月5日
貴重な吉野川の清流を後世まで長く維持するために、年間3回清掃活動を実施しています。女性部会は中心メンバーとして毎回参加し、美化への意識啓発を積極的に行っています。本年度は約170名の参加がありました。
- 5) 児童ホームへの慰問活動 平成27年12月22日
女性部会員3名が徳島児童ホーム(徳島市川内町)を訪問し、タオルや文房具、お菓子などの粗品をお渡しし、園児たちと交流を図りました。



第11回 法人会全国女性フォーラム

福島大会

開催日 平成28年4月14日(木)

会場 ビッグパレットふくしま

主催 公益財団法人 全国法人会総連合
 全国法人会総連合女性部会連絡協議会
 一般社団法人 福島県法人会連合会
 福島県法人会連合会女性部会連絡協議会



ビッグパレットふくしま

福島県郡山市にある大型の複合コンベンション施設。展示・会議・レセプションの3つに対応できるホールを備えており、柱のない5,500㎡もの広さがある多目的ホールでは、見本市や展示会など様々なイベントが行われています。また、規模や参加人数に応じて選べる会議室や研修室、ガラスで覆われた開放感あふれるプレゼンテーションルームなど、各セミナーや講演会等にも利用されています。各種交通機関からのアクセスも良く、最大で1,500台の無料駐車場も完備しています。



大会キャッチフレーズ

心ひとつに
 伝えよう 繋ごう 創ろう
 福島から

東北の玄関口「福島県」は、豊かな自然に恵まれた観光と歴史・文化の町です。東日本大震災により東北沿岸部が受けた甚大な被害の中で、人々の心の支えは大好きなふるさとの復興を新しい未来へ繋ぐ思いでした。法人会女性部会は、未来を担う人々に正しい情報を伝え、歴史・文化・心をつなぐ架け橋となるとともに、安全で豊かに暮らせる地方創生に向け、勇気と希望を福島から発信できるよう社会貢献活動を通じて思いを伝えていきます。心ひとつに、皆さまに感謝を込めて。

●大会日程●

＊ 大会日程

- 11:00～ 受付
- 14:00～15:15 **第1部** 記念講演 …… 多目的展示ホール C
 講師 大和田 新 氏
- 15:30～16:45 **第2部** 大会式典 …… 多目的展示ホール C
- 17:05～18:20 **第3部** 懇親会 …… 多目的展示ホール A+B

＊ 休憩コーナー・物産展・展示コーナー

- 11:00～19:00
- 物産販売・休憩コーナー …… コンベンションホール
- 物産販売／グルメ販売／飲食・休憩コーナー …… 屋外展示場
- 絵はがきコンクール・活動報告パネル展示 …… ホワイエ(展示ホール前)
- 震災パネル展示・観光PRブース …… ホワイエ

女性部会スローガン

わたしたち女性部会は
 法人会組織の一員として
 研修、交流を通じた部会員の資質向上と
 社会への貢献をめざす
 法人会活動の充実に努めます。



公益財団法人 全国法人会総連合

会長 池田 弘一

「第11回法人会全国女性フォーラム」福島大会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

この「女性フォーラム」は、全国の法人会女性部会員の資質向上と情報の共有化による部会活動の活性化を目的として、平成18年に始めました。

本日、福島の地において第11回大会を盛大に開催できますことは、全法連女性部会連絡協議会および福島県女性部会連絡協議会をはじめ、全国の女性部会の皆さんの献身的なご尽力と、開催地福島県連の温かいご支援によるものと、深く敬意を表する次第であります。

さて、これまで法人会は税知識の普及、納税意識の高揚など「税」を中心とした公益的な活動を幅広く展開してまいりました。新公益法人等への移行を契機に「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として、税に関する提言活動や租税教育など、公益的な活動をさらに積極的に展開するとともに、より透明性ある運営に心がけ、税を中心に引き続き広く社会に貢献してまいりたいと考えております。

こうした中、女性部会の皆様には、将来を担う小学生に対する租税教育の一環として「税に関する絵はがきコンクール」に積極的に取り組んでいただいております。平成24年度からは、国税庁のご後援もいただき、ほとんどの会が実施するまでになっていますが、今後さらなる充実をお願いする次第です。また、各地域において地域の実情に合わせ工夫を凝らした、様々な社会貢献活動に取り組んでいただいております。こうした事業は法人会活動の基本であり、今後とも皆様方のご協力により、一層充実を図っていききたいと考えております。

女性部会の皆様方におかれましても、こうした方針についてご理解いただき、尚一層のご尽力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 福島県法人会連合会

会長 猪狩 正明

本日は国税ご当局幹部の皆様、内堀福島県知事をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、かつ全国各地より1800名を超える女性部会の皆様をお迎えし、ここに「第11回法人会全国女性フォーラム」福島大会を開催できますことは、本大会を主管致します私どもにとりまして、この上もない喜びであり、心から歓迎申し上げます。そして、本日の開催に向けご支援ご協力を賜りました関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます。

また、あの忌まわしい震災と原発事故から早5年がたちますが、全国の皆様方には多大なご支援ご援助を賜りこの場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

本県は宮城、岩手県とともに早急なる復旧復興をめざしておりますが、本県に関しての風評被害は未だ払拭されていないのが現状であります。本日ご参加の皆様には、福島県の食材を心ゆくまでご堪能いただき、本日ご参加いただきましたお一人お一人が、本県の食の安全安心のスポークスマンになって頂ければと存じます。

さて、福島県は東北地方の最南端に位置し、面積は北海道、岩手県に次いで三番目に広く海岸や山地は地形装飾を受け標高差も大きく、太平洋に面した浜通り、阿武隈高地と奥羽山脈には生まれ県の中心部を占める中通り、そして猪苗代湖・磐梯山で知られる会津地方と風土も気候も異なる三つの地方から成り立っております。県下いずれの地方も豊かな自然に恵まれ、人情味豊かで、山海の幸も豊富で、私どもは「うつくしま ふくしま」と自称しております。福島市の飯坂、穴原温泉、郡山市の磐梯熱海温泉、いわき市のいわき湯本温泉、会津若松市の東山温泉等、県内主要都市に隣接している温泉地があり、各地域においてそれぞれ特色ある食材を使った郷土料理が皆様をおもてなして参ります。東北地方は、これから春の装いが本番で、本県以南よりお出でいただきました皆様には、再びお花見を楽しんでいただけることと存じますので、お時間が許す限り是非ともこの広い県土はもろろんのこと東北各県にもお運びいただければ幸いです。

最後になりましたが、この大会を契機に女性部会の皆様深い絆で繋がれ、一層交流が深まることをご祈念申し上げますとともに、本日ご列席の皆様のご健勝ご活躍、全国の法人会並びに会員企業のご発展を祈念いたしまして、歓迎のご挨拶といたします。



全法連女性部会連絡協議会

会長 吉田 啓子

「法人会全国女性フォーラム」福島大会を開催するに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、第11回全国女性フォーラムを、ここ福島県郡山市で盛大に開催できますことは大変な喜びであり、これも福島県連並びに福島県連女性部会連絡協議会の皆様をはじめ、本日お集まりの皆様方の多大なるご尽力のお陰と深く感謝申し上げます。次第であります。

さて、私たち全法連女性部会連絡協議会は、平成16年9月の発足以来、法人会活動の充実・活性化への寄与に努めながら、税の啓発活動や、地域社会への貢献活動に取り組んで参りました。女性経営者として自己啓発による資質向上を図るとともに多様化する法人会活動の担い手として大きな役割を果たしてきたと考えております。

特に、女性部会独自の取り組みであります「税に関する絵はがきコンクール」につきましては、平成24年度より国税庁のご後援をいただき、実施会は全体の9割に達するなど、着実に全国的なひろがりを見せております。この取り組みは、今や女性部会の活動における大きな柱の一つとして定着しており、皆さま方のご努力に対しまして、ここにあらためて御礼を申し上げます。

法人会は、新公益法人制度のもと、より公益性の高い活動を求められており、私たち女性部会も法人会組織の一員として、なお一層充実した活動を目指して動んでいきたいと考えております。

本日は、全国から多くの女性部会の皆様が集まる貴重な機会であり、是非とも活発に情報交換と親睦を図り、それぞれの会における今後の法人会活動に大いに役立てて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、本日の大会が、爽り多き大会となりますよう、皆様のご協力をお願い致しますとともに、ご出席の皆様方のますますのご健勝を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



福島県連女性部会連絡協議会

会長 藤田 昭子

「第11回法人会全国女性フォーラム」を春爛漫の福島県において、みちのくの地で初めて、全国から多くの女性部会員の皆様をお迎えして開催できますこと、大変光栄に存じます。福島県連女性部会連絡協議会、女性部会員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。また、本日の開催にあたり、ご支援ご指導賜りました関係各位の皆様へ心より感謝申し上げます。

みちのくの地で初めてと申し上げましたが、仙台局連では平成23年に宮城県仙台市で開催を目前にして、世界中を震撼とさせた未曾有の東日本大震災で、断念を余儀なくされた経緯がございました。その震災時には全国の皆様から救えきれない心のこもったご支援を賜り、大いに助けられ励まされました。またこの度の女性フォーラム開催に際しても、更なるご厚意をお寄せいただきましたこと、重ねて有難く感謝申し上げます。本日は、それゆえ、宮城県をはじめ東北の女性部会員の皆様とも心ひとつにして、ご来賓いただきました皆様様に感謝を込めて心からのおもてなしを致したいと存じます。

さて、私ども女性部会員は、法人会活動の担い手として様々な活動をしております。福島県には、歴史に名を残した女性がたくさんおりますが、最近では新島八重さんが注目されました。幕末に会津藩士の家に生まれ、戊辰戦争では銃をとって戦い、明治期にはエネルギーギッシュに看護婦として活躍、女性として先進的な活動が認められ皇族以外では初の叙勲、昭和初期まで革新に満ちた生涯を送った女性でございます。私達もこの八重さんをお手本に、日々研鑽を積み、今後の日本の未来を担う子供たちのために何をすべきかを考えてまいりたいと存じます。

本日は、福島県連女性部会連絡協議会の部会員が心ひとつしてお伝えする福島県の安全、安心を肌で感じていただけましたら幸いです。本日の女性フォーラムが皆様におかれましては有意義な大会となりますよう、また今後の女性部会の更なるご発展とご出席の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。歓迎のご挨拶とさせていただきます。

大会宣言

第1部

記念講演

14:00~15:15

テーマ

「伝える事の大切さ、 伝わる事のすばらしさ」

講師

フリーアナウンサー
大和田 新 (おおわだ あらた)



1955年(昭和30年)3月生まれ。61歳。神奈川県横浜須賀野市出身。1977年(昭和52年)中央大学法学部政治学科卒。同年ラジオ福島入社。2015年3月、38年務めたラジオ福島を定年退職し、個人事務所「株式会社O.A企画」を設立し、ラジオ・テレビ・講演会活動を中心に幅広く活躍している。生活信条「明日出来ることは、今日しない」。

【担当番組】 ●ラジオ福島「月曜Monday夜はこれから」「大和田新のラヂオ長屋」。

●KFB福島放送「新たな未来へ〜ふくしま経済ナビゲーション」「あの日の証言」。

第2部

大会式典

15:30~16:45

- 1 開会
- 2 国歌斉唱
- 3 開催地歓迎の言葉
- 4 スローガン唱和
- 5 来賓紹介
- 6 主催者挨拶
- 7 来賓祝辞
- 8 活動報告
- 9 大会宣言
- 10 大会旗伝達
- 11 次回開催県連挨拶
- 12 閉会の言葉
- 13 閉会

第3部

懇親会

17:05~18:20

- 1 オープニングアトラクション
- 2 歓迎の挨拶
- 3 乾杯
- 4 アトラクション
- 5 次回開催県連 PR
- 6 御礼(閉宴の挨拶)
- 7 閉宴

震災からの復興途上にある、ここ福島県において、私たちは 第11回法人会全国女性フォーラムを開催することができました。

私たち女性部会は、税のオピニオンリーダーとして社会に貢献する法人会の一員として、租税教育など税の啓発活動や地域・社会に貢献する活動に日々積極的に取り組んでいます。

特に未来を担う小学生に、税の仕組みや税の大切さを伝える「税に関する絵はがきコンクール」は、今や各地域の租税教育活動として定着していますが、子供たちの健全な育成のために更に取り組みを強化していきます。

また、地域に密着した女性部会ならではのきめ細やかな社会貢献活動、活発な地域間の交流により法人会活動の充実と活性化を図っています。

福島は、南北につらなる阿武隈高地と奥羽山脈によって、浜通り・中通り・会津地方の3つの地域に分かれています。それぞれ違う気候、風土のなかで、受け継がれる伝統、長い歴史と浪漫を秘めた特色のある地域に美しい自然が広がっている「福が満開、福のしま。」いま、手を取り合い、幾多の困難を乗り越えて 未来へ向かって…

心ひとつに 伝えよう 繋ごう 創ろう 福島から

私たち女性部会も互いに交流を深め、手を取り合い、法人会活動を通じて更に社会に貢献し、日本のより良い未来を切り拓いていこうではありませんか。

ここ福島の地において、揺るぎない決意とともに、以上、宣言いたします。

平成28年4月14日
法人会全国女性フォーラム 福島大会

税に関する 絵はがきコンクール 平成27年度

全法連女連協会会長賞 受賞作品



世田谷区立相模谷小学校 6年生
下間 陽花 さん



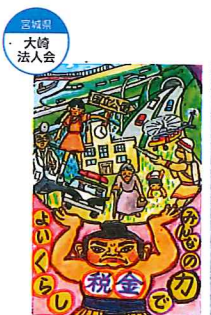
桐生市立南小学校 6年生
今泉 涼 さん



船橋市立薬台小学校 6年生
野村 流生 さん



図書館立深堀小学校 6年生
大隅 守 さん



美里町立青生小学校 6年生
渡部 啓人 さん



名古屋市長千成小学校 6年生
岡崎 万美子 さん



富山市立山室小学校 6年生
福田 結羽 さん



私立広島三育学院小学校 6年生
松下 健一郎 さん



さくま市立石田小学校 6年生
山下 光里 さん



福岡市立誓国小学校 6年生
満塩 陽奈子 さん



南さつま市立坊津学園小学校 6年生
栗野 礼那 さん



沖縄市立コザ小学校 6年生
大城 怜士 さん